

# 『刑法の時間』

---

(Y.O・法曹・20代)

百家争鳴，一人一説，魑魅魍魎(?)の刑法の学習環境に登場した，新しいタイプの入門書。それがこの本です。1冊で総論・各論を通して，刑法全体を学ぶことができます。読み終えた最初の感想は，「すごい入門書が出た！」でした。

弁護士会で，法教育に携わることもあり，中学生や高校生に向けて“紹介”できるような，親しみやすい法律の本を探していたときに会ったのがこちらの本です。かた苦しい用語は使わず，読み手がイメージしやすい場面を設定するなど，随所にリーダーフレンドリーな仕掛けが設けられており，刑法を初めて学ぶ方にピッタリな1冊です。一方で，その内容は，現在の判例・実務や通説を十分意識したものになっています。ですから，未修者が副読本として用いたり，刑法の森に遭難した既修者が頭の中をスッキリさせるのにも役立つと思います。受験的な意味でも，おススメできる内容です。

四六判・わずか268頁の中に，刑法のエッセンスをギュギュッと詰め込んだ1冊。“贅沢”なのに，帯のとおり「読める！読めるぞ！」を体感できる入門書の新定番。ぜひ一度お手にとってみてはいかがでしょうか。